

## Q. 雪下ろしを行う習慣のある地方での積雪量の緩和

### 【質疑内容】

KIZUKURI の操作で以下のチェックを入れる場合としない場合では、どのような違いが生じるのでしょうか？

86 条 6 項に従い低減する（計算には使用しません）

この（計算には使用しません）の文言の意味を教えてください。

一般事項の入力

建設地等 | 建物概要 | クリット | 基本データ | 固定荷重 | 使用材料 | 許容応力度 | 設計方針 | 等級 | 金物 | ハットビス | 基本設定 | 特殊設定

物件名	2階建て木造住宅 長期優良住宅 耐震等級2		
建設主			
建築士資格			
構造設計者氏名			
所属建築士事務所	有限会社 木造舎 一級建築士事務所		
郵便番号	240-0013		
所在地	横浜市保土ヶ谷区帷子町2-67-1-504		
電話番号	045-331-2670		
建設場所	横浜市 地域係数1.0 基準風速34m/s//積雪30cm 地盤支持力20kN/m <sup>2</sup>		
主要用途	専用住宅		
コメント	根太方向を（根太レス 無方向）と設定した例題		

地盤許容応力度(kN/m <sup>2</sup> )	20	風圧力に対する所要壁量	50
根入れ(m)	0.2	地盤種別	2種 (1.0)
せん断力係数	0.20	<input type="checkbox"/> 多雪地域 <input type="checkbox"/> 静岡県 建築構造設計指針	
地震地域係数	1.0	垂直積雪量 (cm)	30
地表面粗度区分	3	<input type="checkbox"/> 86条6項に従い低減する(計算には使用しません)	
基準風速 (m/s)	34	積雪低減用屋根勾配	5 /10

### 【 回答 】

建築基準法施行令 第 86 条 6、雪下ろしを行う習慣のある地方での積雪量の緩和に関することです。

こちらにチェックを入れると、低減緩和の有無が概要書に反映されます。

（一般地域の建築の場合チェックを入れる必要はありません）

【3. 積雪荷重】	(参照頁)	
【イ. 垂直積雪量】	30.00 cm	
【ロ. 単位荷重】	20.00 N / (m <sup>2</sup> · cm)	
【ハ. 積雪荷重の低減】	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無	
【ニ. 特定行政庁で定める規則】	<input type="checkbox"/> 有 · <input checked="" type="checkbox"/> 無	

ただしこちらにチェックを入れただけで概要書に低減の有無が反映されるのみで、計算には反映されません。

計算に積雪量の低減を反映させるには垂直積雪量 (cm) の数値を操作する必要があります。

チェックボックスの横の（計算には使用しません）という文言はそのような意味です。